

創立145周年

学校だより



は
南 風 の 子

中種子町立
南界小学校
平成30年10月18日

一つ一つの学校や地域行事を通して

校長 吉留 巧

校区合同運動会が盛会のうちに終了してから一か月が過ぎようとしています。たくさんの来賓、地域の皆様のご声援や競技参加をいただきました。また、中学生の皆さんの運動会への協力にも感謝します。ありがとうございました。

たくさんの応援を受けて子どもたちのやる気もぐっと高まり、応援・ダンス・各競技にこれまでの学習の成果をしっかりと発揮できました。とても嬉しく思いました。



10月に入り、7日の町民体育祭、11日の町小学校陸上記録会と開催されました。町民体育祭の南界校区の結果は、優勝には20点差、3位とは2点差の5位と接戦でした。参加者も応援の方も校区民一体となった一日になりました。校区の皆様、来年は優勝や躍進賞を目指してがんばりましょう。

さて、学校では、今後は11月7日の町音楽発表会や11日の学習発表会へ向けて練習も始まりしました。地域では10月20日の相撲大会や11月18日の駅伝大会の練習も始まります。練習や本番を通して、体を鍛えるだけでなく忍耐力や協力する心なども伸ばしてほしいと思います。

まだまだ慌ただしい日々がこれからも続きますが、子どもたちは日々の生活のリズムを崩さず、授業中の取組や家庭学習もがんばってほしいと思います。

朝夕の寒暖の差が大きくなり、体調を崩す子どもが見られるようになりました。御家庭での見守りよろしく願います。

【自分の目でものを見る。そして納得する。そこまであきらめない】

10月1日、京都大学特別教授の本庶 佑（ほんじょたすく）氏にノーベル医学生理学賞が贈られたといううれしいニュースがありました。受賞理由は「がんの免疫逃避機構の抑制による治療法の発見」??ですが、既にこの研究開発で、がんの治療薬が認可され、臨床の現場で目覚ましい成果を挙げ、がん治療に革新をもたらしているそうです。



【本庶 佑氏】

本庶先生は、受賞会見で、「研究にあたって心がけていることやモットーは？」と聞かれ、「科学誌に載っているからどうだと言われるけど、まず論文とか書いてあることを信じない。自分の目で確信ができるまでやる。（略）研究者になるにあたって大事なことは[知りたい]と思うこと、[不思議だな]と思う心を大切にすること、教科書に書いてあることを信じないこと、常に疑いをもって[本当はどうなっているのだろう]と自分の目でものを見る、そして納得する、そこまで諦めない。」と語りました。

好奇心をもち、常に物事を多角的に見つめ、いくつかの情報を基に自分で納得して判断する。改めて教えていただきました。